

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.131
平成20年2月28日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

クリック

今さら「クリック」?、と思われるかもしれませんが、クリックはマウス操作では、言わずもがな、もっとも基本的な操作ながら、これが意外に難しいのです。

コンピュータを使っていて、誤って別の場所をクリックしてしまったり、ドラッグになってしまったり、右ボタンを押してしまったり、と、けっこう困ったことがおありではないでしょうか。

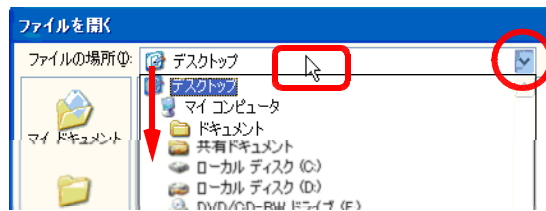
コンピュータにマウス操作を正確に伝えるためには、まず持ち方から、です。ボタンに乗っている指は、軽く曲げることです。たまごを軽く握るように、マウスを包み込んで使います。こうすると、ポインタのコントロールもしやすくなります。ボタンは、指の腹ではなく、先端で操作しましょう。

それと、クリックは、ポインタを「静止」させた状態で行うことです。素早く操作しているつもりでも、クリックの瞬間にポインタが動いてしまうと、正確に目的のものをクリックすることはできません。クリックや(ドラッグ&)ドロップの瞬間は、息を止めてみましょう。

そして、大事なことは、注目する場所は、マウスポインタのアイコンの「ただ1点」である、ということです。矢印ならその先端、それ以外なら、中央とかアイコンの中の特徴のある点になります。この1点を目標にきちんと乗せてクリックしたりドラッグ(&ドロップ)しなくてはなりません。

一つ、いいことがあります。

通常、「開く」のダイアログボックスなどで、「場所」を変更したいとき、そのフィールドの右端にある小さい をクリックして、プルダウンメニューを表示します。このマークはたいへん小さく、正確



にマウスポインタを乗せるには神経を使いますが、実は、クリックするのは、フィールドの中のことでもいいのです。これなら、それほど正確に操作できなくても大丈夫ですね。

こういったフィールドでは、その中をクリックしたときのコンピュータの動作がいくつかあります。この例のように、プルダウンメニューが表示されるもの、ブラウザのアドレス欄や、この「開く」などの「ファイル名」欄では、クリックしたときに表示されていた文字列が反転して、それをコピーしたり書き換え(置き換え)たりできるようになります。あるいは、フィールドの表示されている文字列のどこかに、文字入力カーソル(点滅する縦棒)が表示される場所もあります。

それぞれの場合でのコンピュータの「返事」を覚えて、ストレスなく快適なマウス操作で、思うように道具としてコンピュータが生きてくるといいと思います。

クリック一つですが、奥深く、意味深く、おろそかにはできないものなのです。